

8月20日(火)

イエス様が私たちと舟に乗られる

聖書朗読 マルコの福音書 6:45~52

イエスは、弟子たちが、向かい風のために漕ぎあぐねているのをご覧になり
マルコ 6:48

あなたが神様を最も必要としている時に、神様に見捨てられたと感じたことはありますか。弟子たちはそう感じていたかもしれません。彼らが舟を漕いで湖を渡る途中、嵐が起き、強い風と波によって舟は揺れました。嵐から身を守るために戦っていた彼らは、体力を失っていきました。彼らが最も必要としている時に、イエス様はどこにいたのでしょうか。

イエス様は彼らの苦しみをご覧になり、同情されました。湖を歩いて渡られたイエス様は、弟子たちの舟に乗り込まれました。すぐに嵐はやみ、水は穏やかになりました。イエス様は嵐のことを心配されてはいませんでした。でも、友人が苦しんでいるのを放っておかれませんでした。風と波の中を歩いて行って、騒ぎの渦中にある友人たちに加わられました。そして、海と嵐を治めるお方であるイエス様は、彼らの混沌とした状況に平安をもたらしました。

イエス様にあって、神様は私たちの苦しみを分かち合うために、私たちと共にこの世界に乗り込まれます。そして、神様御自身の苦しみを通して、私たちに平安をもたらします。私たちは神様の手の届くところにいるのです。

讃美歌 228 ガリラヤの風、かおるあたり

祈り 親愛なる神様。いつもあなたの私たちに対する愛を覚えていられますように。あなたはいつも近くにおられて、私たちを決してひとりにしないことを知ることができますように。私たちの救い主イエス様の御名により。
アーメン。



テネシー州 ナッシュビル / スタン・カニングハム

8月21日(水)

真理によって断罪される

聖書朗読 マルコの福音書 14:55~65

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。
ヨハネ 14:6

祭司長たちと全議会は、イエス様を死刑にする理由を探していましたが、証拠をつかむのに苦心していました。彼らは、イエス様に対する偽証をさせるために人々を連れてきましたが、証人たちは話を合わせるできませんでした。

そこで祭司長はイエス様にはっきりとこう聞きました。「あなたは、キリストですか。」「わたしは、それです。」とイエス様は言われました。

この真理によってイエス様の死刑が確定しました。イエス様は偽証によってではなく、真理によって断罪されたのです。

今日もイエス様に関して嘘をつく人が沢山います。イエス様は存在しなかった、または、イエス様は存在したけれど、現在の私たちの人生には関係ない、または、イエス様はただの良い人だった、ただの偉大な預言者だったなどと言います。

でも、真実は、イエス様はキリストであり、ほむべき方の子であり、父なる神様への道なのです。嘘を聞くことはイエス様に関する真実を聞くより簡単かもしれませんが、しかし、真実のみが私たちに罪を気付かせ、変わらなくてはならないと確信させ、自分自身を葬り、キリストの復活にあって生かす力を持ちます。

イエス様にとって真実は死刑の宣告でした。私たちにとっては、真実は永遠のいのちへの道なのです。

讃美歌 494 わが行く道 いついかに

祈り 親愛なる神様、あなたのひとり子を私たちに与えてくださったことにより、
あなたを知ることができる道があることに感謝します。イエス様の真理により私たちが罪に気づき、嘘によって迷うことがありませんように。ほむべき方の子、イエス様の御名によりお祈りします。アーメン。

カリフォルニア州 ニューベリー パーク / タミー・ディットモア

8月22日(木)

私たちの土台の持続性

聖書朗読 ルカの福音書 6:46~49

というのは、だれも、すでに据えられている土台のほかに、ほかの物を据えることはできないからです。その土台とはイエス・キリストです。 コリントI 3:11

“立地、立地、立地!”この有名な格言は不動産ビジネスから生まれたものではありません。イエス様は岩の上に家を建てた人の話をしました。洪水になり風が打ち付けても、その家はびくともしませんでした。別の人は砂の上に家を建てました。嵐がくると、砂の土台がずれました。そして、その家は倒れてしまいました。それぞれの結果は家の立地によって左右されました。立地が土台を決定しました。

子どもの聖書クラスで、小さな握りこぶしで家を建てる真似をしながら歌ったのを覚えていますか。でも、この歌の3番の歌詞を聞いてみると、この歌がただの土木工学や不動産の歌ではないことがわかります。歌詞にはこうあります。

♪すべての人よ、信仰の家を、イエスの上に今建てましょう。♪

この二つの家の建築者の努力や建物は同じようなものです。二人とも、お金や汗、時間を費やしますが、土台が違いを決定付けるのです。“人生の嵐”がやってくる前に、私たちの人生は岩の上に建てられていなければならないのです。イエス様のやさしい話は聞き手を驚かせます。でも、大切なのは、この話の本当の意味を理解することです。イエス様とその教えの土台の上に人生を築き上げることによってのみ、私たちは祝福を受けることができます。

讃美歌 191 いとも尊き 主はくだりて

祈り 神様。イエス様を土台として人生を築く中で、私たちが正しく判断し、喜びを持つことができますように。イエス様、父なる神様と私たちの仲裁者であってくださってありがとうございます。イエス様の御名によって。アーメン。

テネシー州 ロックフォード / リネット・カーナハン・グレイ

8月23日(金)

満足した魂

聖書朗読 ルカの福音書 9:23~27

あなたがたは、しばらくの間現れて、それから消えてしまう霧にすぎません。
ヤコブ 4:14c

ある青年が大学を卒業し、彼の父親は卒業祝いの特別な贈り物を用意していました。「息子よ。お前に二軒の家と、家の改築費用25万ドル(訳注:約3900万円)をあげよう。どちらの家にお金を使ってもいいが、一軒目の家には一年しか住めない。そして、二軒目の家に生涯住むことになる。」

どちらの家に息子はお金を使うと思いますか。一年しか住まない家ですか。それとも、生涯住む家ですか。

私たちのこの世での人生は一軒目の家のようなものです。私たちはこの世で可能な限りのものを得ようと魂を注ぎ込みます。でも、その楽しみは一時的なもので、最後には、ただ空っぽで満たされない魂が残るだけです。

でも、私たちができる限りのことをして、神様との関係を築くことに魂を注ぎ込めば、今だけでなく、永遠に続く最大の喜びを見つけることができ、私たちの魂はいっぱい満たされます。

讃美歌 298 やすかれ わが心よ

祈り ああ、主よ。この世には私たちが迷わすものが沢山あり、私たちの心は簡単に騙されてしまいます。私たちがあわれみ、自分の生涯を正しく数えることを教えてください。朝にはあなたの恵みで私たちに満ち、キリストの栄光を一日中見せてください。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / チャック・ブライアント



8月24日(土)

高ぶりは破滅に先立つ

聖書朗読 ルカの福音書 14:1~14

主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいます。
ヤコブ 4:10

安息日にイエス様はパリサイ派の指導者の家で食事をしました。招かれた人たちが上座を選んでいることに気づかれたイエス様は、高慢さに関するたとえ話をされました。イエス様は言われました。『婚礼の披露宴に招かれたときには、上座にすわってはいけません。あなたより身分の高い人が、招かれているかもしれないし、あなたやその人を招いた人が来て、『この人に席を譲ってください』とあなたに言うなら、そのときあなたは恥をかいて、末席に着かなければならないでしょう。』(8・9節)

私はイエス様の言うことを聞くべきでした。台湾で若い宣教師だった時、私は披露宴に招かれました。私は人々から尊敬をもって接してもらっていたので、新郎新婦の両親の近くのテーブルに着きました。すると、新婦の父親がやってきて、私にこう言いました。「別のテーブルに移動してくれませんか。ここは家族用のテーブルなんです。」

私は恥をかいたことを隠そうとしましたが、その痛烈な言葉は私を謙遜にさせ、『だれでも自分を高くするものは低くされ』るというイエス様の言葉が耳に響きました。私はそれ以来、思い上がった振る舞いはしないよう心掛けています。イエス様はこうも言われました。『自分を低くする者は高くされるからです。』

讚美歌 339 きみなる イエスよ

祈り お父様。私たちのエゴに穴をあけ、私たちの心から自分勝手な高慢さを流し出してください。私たちも、十字架の死に至るまでご自分を低くされたイエス様のようになることができますように。イエス様の御名前によって祈ります。アーメン。

オレゴン州 グレシャム / リチャード N・アディー

8月25日(日)

最大の屈辱それとも愛

聖書朗読 ルカの福音書 15:11~24

この息子は、死んでいたのが生き返り、いなくなっていたのが見つかったのだから。』そして彼らは祝宴を始めた。
ルカ 15:24

この話に出てくる身勝手な弟息子は、まだ父親が元気で生きているうちに、遺産の一部を要求しました。何て無礼な行いでしょう。彼は何もかもまとめて国を出て行きました。こんなの聞いたことがありません。弟よりは分別のあった兄息子は、当時の習慣通り、家に残って年老いた両親の面倒を見ました。財産の分け前を要求し、遠い国に旅立つという、これら二つの間違った行いは、ほとんどがパリサイ人だったイエス様の聴衆をとっても動揺させたはずです。

それからイエス様は、この息子が短期間で、しかも不道德な生活で遺産をすべて散財してしまったという、もっと恥ずべき行いについて話しました。大ききんが起こった後、息子は農家に身を寄せて、ユダヤ人にとって最も屈辱的な仕事、豚の餌やりをしました。聴衆にとって、このシナリオ以上に不快なものはなかったでしょう。

極端な罪と極端な赦しの話を完結させるために、イエス様は彼らには驚くべき父親の反応を宣べました。イエス様は、憐み深い父親は息子の帰りを心待ちにしていたと言いました。そして、息子を目撃した瞬間、父親は走り寄って息子を抱きしめました。息子が悔い改めのスピーチを始めると、父親はしもべたちに、息子のために一番良い着物と指輪と靴を持ってくるように、そして、祝宴のために肥えた子牛を用意するように言いました。天の父なる神様の愛の御手が私たちに届かないことはないのです。神様は赦して下さるお方です。

讚美歌 239 さまよう人々 たちかえりて

祈り お父様。あなたがいつも私たちを赦し迎え入れてくださるお方であることを思います。あなたのひとり子の尊いお名前によって。アーメン。

アラバマ州 ハンツビル / デイビッド・ガイ